2025/9/22 発行

国民と自衛隊との架け橋！

隊友 湘南支部ニュース

令和７年９月号（No.263）

発行責任者
公益社団法人隊友会 神奈川県隊友会
湘南支部長 中尾 剛久
茅ヶ崎市赤羽根 2661 - 26
Tel：090-4897-4074

「部隊研修について」

湘南支部長　中尾　剛久

九月の声を聞き、少しは涼しい日があってもよさそうなものですが、まだまだ厳しい残暑が続いています。今年の夏は観測史上最も暑い夏だったとのことですが、そのコメントも三年連続のことらしいです。会員の皆様にとっても、身体的にも耐えがたいものがあったと思います。心からお見舞い申し上げます。もう少しでしょうから頑張りましょう。

さて、去る八月二九日に湘南支部部隊研修等として陸上自衛隊朝霞駐屯地近くの「りっくんランド」等を訪問しました。詳細については、今号に高鹿理事役の投稿記事が掲載されているのでそちらを参照していただきたいと思いますが、私自身にとりましても今回の研修先は初めてだったので大変貴重な経験になりました。現役時代は、他自衛隊の基地・施設等は意外に訪問する機会はありませんでした。改めて研修の機会を作っていただいたことに感謝いたします。

皆様すでにご存じとは思いますが、最近では陸海空各自衛隊の部隊研修（各部隊から見れば広報）の実施が大変難しくなってきています。これは我が国を取り巻く安全保障環境が厳しさを増し、各自衛隊の任務が多忙となってきているため、個別の部隊研修要望に応える余裕がなくなってきていることが直接の要因になります。加えて、昨今の募集状況は危機的であり、実員の減少に歯止めがかからない現状もあり、自衛隊としては限りある広報の機会は、募集に直接貢献できるものを優先する方針のようです。現時点でも募集広報のみは対応するという部隊が多くなってきています。

今回の湘南支部の企画でも募集対象者となる方に極力参加していただくよう努力はしましたが、支部の能力だけでは限界があることも確かです。湘南支部として計画する部隊研修のあり方も、今後検討する必要があるのではないかと考えています。

防衛省は、本年７月に中央観閲式など毎年実施してきた行事を「安全保障環境が劇的に変化しない限り実施しない」という発表を行いました。非常に残念ではありますが、今年実施予定だった自衛隊観艦式も中止となりました。中国が本年九月三日に「抗日戦争八〇年」軍事パレードを実施し、大々的な軍事的、政治的プロパガンダを行ったことと対照的です。我が国及び防衛省・自衛隊の置かれた立場がいかに厳しいものであるかを理解することができると思います。そしてその代替措置として、各部隊がそれぞれの所在地で広報行事を行うとしています。今後は我々が計画する部隊研修等もこれらの一般公開される広報行事に合わせる形でならできるのかもしれませんが、参加者募集も含めたスケジュール的な都合が合致するかどうかや、支部独自企画という特別感がなくなること、部隊側の生の声を直接聞きたいという希望に沿うことは難しいこと及びそもそも一般公開の行事ならば支部としてまとまって参加する意義が希薄になることなど、なかなか悩ましい問題をはらんでいます。もう少し検討の時間を頂きたいと思います。

令和７年度部隊研修
（陸自朝霞広報センター等）

支部理事役　高鹿　治雄

隊友会湘南支部(支部長:中尾剛久)は、部隊研修を令和７年８月２８日㈮に実施した。厳しい猛暑にも拘わらず湘南支部の部隊研修を楽しみにした１４名が参加した。

当日は「和光市駅」南口に集合して約１．５㎞離れた朝霞広報センターまで行きは循環バスを利用した。最初に朝霞駐屯地広報班長より「朝霞駐屯地の概要」について分かり易い説明を受けた。本研修に同行してくれた藤沢募集所長と広報班長が昔の同僚だったことから現役自衛官による最近の自衛隊や自衛官の現状説明が実現できたことに、改めて地元藤沢募集所長との密接な連携の大切さを実感した。

引き続き振武臺記念館(ガイド説明あり)及び広報センター「りっくんランド」を見学した。紙面の制約もあり、今回は朝霞駐屯地の隠れた歴史と朝霞の名前の由来について報告する。幻のゴルフ場と言われている東京ゴルフ倶楽部の「朝霞コース」を知っていますか？１９１３年(大正２年)に作られた「東京ゴルフ倶楽部」は、１９３２年(昭和７年)に埼玉県膝折村(現朝霞市)に東洋一の本格的なコースをオープンした。１９３４年(昭和９年)には「野球の神様」と言われたベーブ・ルースもプレーしていて、その証拠写真が振武臺記念館に展示されていたのには驚いた。しかし世界大戦が近づくと「陸軍予科士官学校用地」として買い上げられ、東洋一といわれたゴルフ場はたった８年で幕を閉じ、帝国陸軍の基地となり、朝霞駐屯地の歴史が始まった。しかしことはこれだけでは終わらず、「朝霞」の名前にはもう一つ隠れたエピソードがあった。膝折村の広大な敷地に完成した「東京ゴルフ倶楽部」では、記念大会には名誉会長の始球式が行われたが、ゴルフ場なのに「膝を折るというのはいかがなものか」という話になり、町政施行の始球式を務めた名誉会長である皇族の「朝香宮鳩彦王」の名前から「朝香」を取り、そのままでは畏れ多いので膝折市は朝に霧が係ることが多かったことから、一文字を変えて「朝霞」と決めた逸話が残っている。もしゴルフ場がこの地になかったら今の「朝霞市」はなく、「膝折市」そして「膝折駐屯地」になっていたかもしれませんね。

朝霞駐屯地は１９６０年(昭和３５年)に開設され、地理的には東京都練馬区、埼玉県朝霞市、和光市、新座市にまたがり、面積は朝霞駐屯地(約９１万坪：東京ドーム２０個分）と朝霞訓練場(約７２万坪：東京ドーム１６個分)、所属人員約４２００名を誇る陸上自衛隊最大の駐屯地である。主要部隊としては、陸上総隊司令部(平成３０年新編)と東部方面総監部をはじめ、第１偵察戦闘大隊、第１施設大隊、第１後方支援連隊など、正面から後方、通信・情報・サイバー等あらゆる部隊があり、現在も陸上自衛隊の大改革が進行する頼もしい現在の朝霞駐屯地を知る貴重な部隊研修となった。

１６時見学終了後、和光市駅まで３０分ほど歩いて移動して参加者有志による懇親会を行った。今回の研修には西村理事役の野外活動仲間である大学生が２名参加した。２年前の市ヶ谷ツアー研修にも５名の野外活動仲間の大学生(陸自予備自衛官在籍)が参加しており、その後、内２名が陸自、１名が海自の一般幹部候補生として入校した。しっかり歩いた後の美味しいビールと、若い大学生の夢のある自己紹介などで明るく和やかな歓談となった。初参加の中尾支部長から「大学生が参加できる部隊研修」を今後も続けましょうと激励の言葉もあり、盛会のうち

編集委員：深澤文晴　,℡:　090-4542-1982,　Mail:　f_fukazawa@yahoo.co.jp

に部隊研修を無事終了した。

今回の部隊研修には、藤沢募集所長をはじめ神奈川地本、朝霞駐屯地等のご支援を頂きましたことを心から感謝申し上げると共に、陸海空自衛隊の今後益々のご発展、ご活躍を祈念いたします。

振武臺記念館での集合写真

駐屯地広報班長による説明

言葉を畏れずに言うなら粗末な暮らしぶりに見えます。

しかし、外見はそう見えるけれども、実は、心豊かに生き生きと皆で支え合って明るく元気に生きている眩しさに圧倒されてしまったのです。特にこども君たちの様子に見とれてしまいました。

右記のエンディ君は、村のこども君たちをまとめる筆頭でした。彼の私に対するサポートのお礼の気持ちで、その翌日のホテルの朝食で出されたアップル・ジュースを彼に渡しました。すると、それを見たこども君たちが集まってきました。見ていると、エンディ君は一番小さなこども君に最初に口に含ませたあと、残りをこども君たちで分けながら回し飲んだのです。独り占めすることなく、皆で等しく分け与えることが、あたりまえのようにできる心をだれもが有していて、それをあたりまえに自然に行っている！

片や、ウクライナ戦争が止まない殺伐とした世界とは対極の世界が、現に、私の目の前に拡がっているのです。そのような純粋・無垢のこども君たちは、この世の救いであり、宝者（たからもの）であり、次の世代を担う希望そのものだと心打たれたのは自然の流れでした。

好奇心旺盛で、学びたいという熱烈な想ひは、こども君たちのキラキラと輝く眼の力に籠っていました。

小学校など十分でない教育環境にあるこども君たちに、少しでも応えたいと思案し、以後の現地派遣においては、ＤＡＩＳＯ等での廉価なお絵かき道具や、文具、玩具などを持てるだけ持っていくようにしました。

一方、気をつけたのは手渡し方です。私が直接手渡すと、恣意的に配分することになり、それは、こども君たちの間での不平等感を生起させることになり、もめごとの種になってしまいます。そこで、村長さんか、村長さんが指定する年長者から分配してもらうようにしました。

「パプアニューギニアのこどもたち展」レポート　その２

支部理事役　荻原 洋聡

２「パプアニューギニアの子どもたち展」開催への経緯・背景

⑴現地での体験

２０２３年（ウェワク３回）、２０２４年（ブーゲンビル島）の延べ４回の厚労省・日本戦没者遺骨収集現地調査に隊友会枠で参加する機会をいただき、その体験については、一昨年・昨年の安全保障トークサロンで御報告したとおりです（Youtube　ＦＭからつ　ユスフ大佐シリーズ）。

コロナで約５年間中断した現地調査が再開された２０２３年３月の最初の現地体験は、あらゆることが衝撃でした。「わがブレンディ村に日本人がやってきた！」と村人総出の大歓迎と献身的な協力・支援を受けました。特に、当時１２歳のエンディ君は、始終私にひっつき虫で、何かれと、荷物運びや道案内を勤めてくれました。パプアニューギニアの人々の８割以上は自給自足の生活です。恵まれ、いや恵まれすぎた日本の日々の生活ぶりに比べたら、一見、あまりにも質素であり、

湘南支部名所旧跡探勝　ハイキングのご案内

支部理事役　西村　剛

日　時　令和７年１０月２５日㈯
１１時～１５時　※ 雨天決行

場所等　靖國神社境内の『遊就館』他
先の大戦に臨まれた方々の威徳を偲び、更に見識を深めたいと存じます。

行動計画
１１：００集合　地下鉄『九段下駅』靖國神社・日本武道館側 改札口の外側（都営地下鉄「新宿線」・東京メトロ「半蔵門線」「東西線」の共通の改札口です）
１１：０５出発　→　１１：２０　遊就館　着
休憩
１１：３０人員の確認　拝観料金の徴収（大人１，０００円　団体２０名以上で８００円）
１１：４０展示会場へ入場　以後、自由見学（入場券提示で何回でも出入可）
１４：００集合　玄関ホールの展示機「零戦」の後部近く
１４：０５散策へ出発　パール博士顕彰碑・神池庭園等散策
１４：４５解散　『大手水舎』前

以後、〔有志参加で〕懇親会予定（南門近くの中華料理店、会費４，０００円程度）

参加申し込み（連絡先）及び、期限

・担当　西村 剛　宛

参加希望者は、ご氏名、ご年齢、性別、懇親会への（参加・不参加）、携帯電話の番号をお知らせ下さい。

メール：nishimura.164141@docomo.ne.jp
4wu86c@bma.biglobe.ne.jp
携帯：090－2459－2144
FAX：0466－43－8240

・申込期限　１０月２２日㈬１８時

「第４７回　神奈川自衛隊音楽まつり　２０２６」への協賛のお願い

令和８年度に陸海空自衛隊に入隊、防衛大学校等各種学校に入校予定の皆さんを激励する「第４７回　神奈川自衛隊音楽まつり２０２６」への協賛のお願いの時期となりました。今回の音楽まつりは、令和８年３月１５日（日）、海老名市文化会館で開催されます。

つきましては湘南支部として例年通り協賛による支援を行いたいと思いますので会員各位のご協力をお願い致します。

なお、協賛のお願い文書、振込用紙は別途郵送にて全支部会員へご連絡致します。募集難の折重ねてご協力をお願い致します。

支部長　中尾剛久

「安全保障トークサロン」日程変更のお知らせ

１１月８日㈯で計画をしていた安全保障トークサロンは、諸事情により１２月２１日㈰での計画に変更します。

詳細は、湘南支部ニュース１０月号でご案内いたします。

支部会員による２０２６第４７回神奈川自衛隊音楽まつり協賛

湘南支部長（九月十八日現在）

中尾剛久、小見山雅、尾﨑謙一、田中了、藤澤豊、西村剛、佐藤友昭、深澤文晴、渡辺一正、平川幹雄、菅原政弘、牧石健志、清﨑忠圀、福樂勲、長田博、高見巌、小池芳樹

（順不同・敬称略）

「支部の予定」

- **10/11（土）**
  第７回支部理事役会
- **10/22（水）**
  10 月号隊友紙発送
- **10/25（土）**
  名所旧跡探勝
- **11/01（土）**
  第８回支部理事役会
- **11/19（水）**
  11 月号隊友紙発送
- **12/上旬**
  広報官慰労・激励会
- **12/20（土）**
  第９回支部理事役会